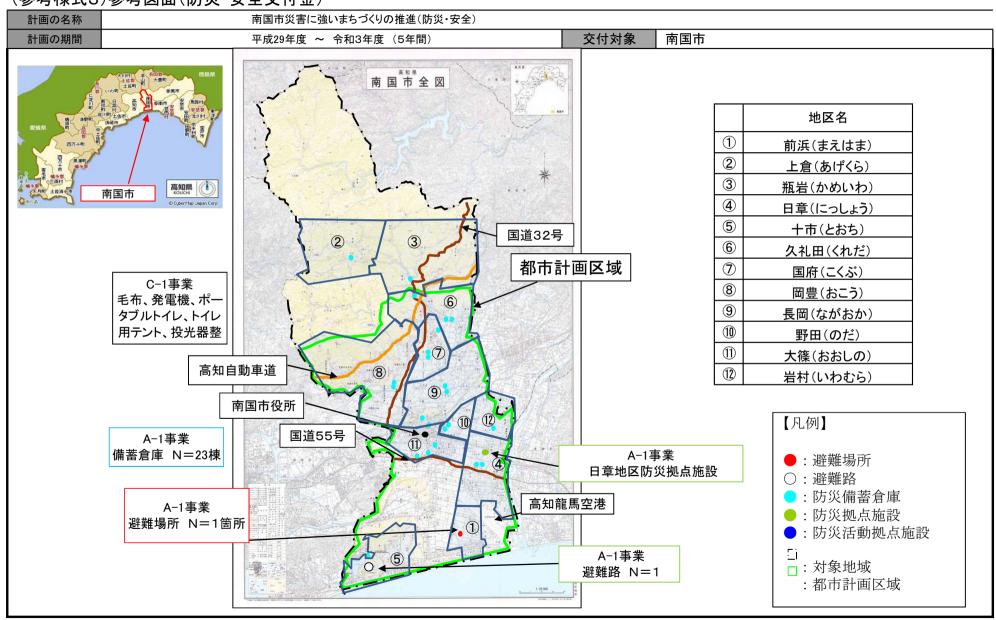
(参考様式3)参考図面(防災・安全交付金)



計画名 : 南国市災害に強いまちづくりの推進(防災・安全)

都市防災事業計画(第2回変更)

前浜地区外11地区 都市防災総合推進事業

高知県 南国市

当初 平成29年3月 第1回変更 平成31年3月 第2回変更 令和2年1月

上段:変更前(当初)

下段:変更後(第2回変更)

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

南国市は、高知県の中東部、一級河川物部川下流域西部に位置し、概ね100年から150年に一度の割合で南海トラフ地震による地震動や津波災害に見舞われてきた。また梅雨前線や台風による豪雨災害が発生しやすく、市街地では浸水被害、北部山間地域では崖崩れ等の土砂災害に見舞われている。

近い将来に発生が予想される南海トラフ地震の最大クラスの想定では、震度6弱から7の揺れ、津波浸水面積17.21平方キロメートルと想定されている。その地震動・津波による人的被害は最大で死者3,200人(うち建物倒壊によるもの460人、津波によるもの2,800人、火災によるもの20人)、負傷者3,000人(うち建物倒壊によるもの2,800人、津波によるもの210人)、一か月後の避難者は34,000人と想定されている。また、高知県により「地震火災対策を重点的に推進する地区」が指定されており、地震火災による人的・物的被害も想定されている。

南国市では、災害情報を一斉同時に伝達する手段としてデジタル防災行政無線が整備されており(平成26年運用開始)、Jアラートに連動して緊急地震速報や津波・大津波 警報、気象特別警報、また国民保護情報などの自動放送を行う手段を備えている。その他、緊急速報メールやLアラートによるマスコミ等への情報伝達に加えて、市ホーム ページやSNS(フェイスブック)による情報提供を実施している。また自主防災組織や消防団等による住民相互間の口頭伝達も重要な伝達手段である。

一方、南海トラフ地震に際して想定されている最大クラスの津波浸水に対しては、浸水域に居住する住民が津波発生時に概ね5分で避難可能となるよう津波避難タワーや高 台の避難場所整備を実施し、併せて迅速な避難が可能となるよう避難路、避難誘導灯も整備している。また、揺れに対する減災対策としては、住家の耐震化・家具の転倒防止 対策が最も効果的であり、本市においても積極的に実施しているところである(耐震化率68.96% 27年3月末現在)。

住民自身の自助努力と発災時の適切な情報伝達により地震による揺れや津波から守った命を繋ぐためには、避難所の環境整備が必要となる。本市では住民による主体的な避難所運営を行えるよう避難所運営マニュアルの作成に取り組んでいるが、避難所に指定されているものの老朽化により耐震性が低く、その機能を十分に果たせないことが予測される施設もあり、順次、防災拠点施設として整備を実施している。

また救助・救出活動や安全で衛生的な避難所運営を行うためには、災害時の備蓄物資・資機材が必要となる。本市では備蓄物資等の収納場所として指定避難所及び指定避難場所に順次防災備蓄倉庫を整備しているところである。

以上の現状を踏まえ今後も引き続き、防災対策の強化を進めていくことが求められる。

【整備方針】

南国市では、「第4次南国市総合計画」(平成28年3月策定)に基づいて、「安全・安心のまち」を基本目標にその実現に取り組んでいる。この中で施策の方針として「南海トラフ地震や暴風、大雨、洪水、土砂災害、高潮などの自然災害対策や防火対策に備えた施設の改修、整備を促進する」ことを掲げている。これを踏まえ南国市地域防災計画に基づき、災害に強い街づくりを推進していく。

①避難場所・活動拠点施設の整備

南国市最大の集客施設である南国市立スポーツセンターはL2クラスの津波想定では浸水域内に存在するものの周辺に津波避難場所がないことから、一時的に緊急避難できる津波避難タワーの整備を進める。

②避難者収容力の充実強化

南海トラフ地震発生時に不足されることが想定されている一時的な避難者の収容力の向上を目指し、防災まちづくり拠点施設を整備する。

③地域防災力の向上

自主防災組織を中心にした住民による適切な応急救助活動及び避難所運営の実施を目的とした防災備蓄品を収納するための防災備蓄倉庫を各指定避難所へ整備し、 地域防災力の向上を目指す。

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	南国市	計画期間		平成 29 年度 ~ 令和 4 年度
担当部局名	— 部(局) 危機管理 課 危機管理 係	担当者	(正) 野村 学(副) 山本麻千子	連絡先	TEL FAX e-mail	088-880-6575 088-863-1167 <u>n-kikikanri@city.nankoku.lg.jp</u>

【都市防災総合推進事業】

事業区分		事業 主体	事業地区名	地区面積 (ha)		合推進事業 事業期間	補助率	補助事業費	費(予定)額										
		土神		(na)	開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費										
					前浜地区	239	平成29年度	令和4年度	2/3	464.9	309.9								
			上倉地区	4,160	平成29年度	平成29年度	1/2	4.2	2.1										
			瓶岩地区	1,756	平成29年度	令和元年度	1/2	8.4	4.2										
			久礼田地区	609	平成30年度	令和2年度	1/2	33.8	16.9										
	地区公共	南国市	国府地区	248	平成30年度	令和3年度	1/2	8.4	4.2										
			岡豊地区	1,262	平成30年度	令和2年度	1/2	8.4	4.2										
			長岡地区	802	平成30年度	令和3年度	1/2	16.8	8.4										
地区公共 西設等整備			野田地区	141	平成30年度	令和3年度	1/2	8.4	4.2										
			大篠地区	700	平成30年度	令和3年度	1/2	12.6	6.3										
			岩村地区	236	令和3年度	令和3年度	1/2	4.2	2.1										
														日章地区	849	平成29年度	令和2年度	1/2	8.4
			十市地区	561	平成29年度	平成30年度	1/2	54.2	27.1										
		南国市	大篠地区	700	平成31年度	平成32年度	1/2	0.0	0.0										
	防災まちづくり拠点		日章地区	849	平成32年度	平成33年度	1/2	202.0	101.0										
			前浜地区	239	平成29年度	平成30年度	1/2	0.0	0.0										
	合計							834.7	494.8										

- 注)補助事業費について百万円単位。
- 注)該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費	事業期間		事業実施状況	重点密集
争来区方	争耒土14	争耒収区石	尹未 况 悮、 山 恨、 些 技、幅貝寺)	(国費ベース)	開始年度	終了年度	争耒夫肔认况	市街地の有無
街路事業	南国市	高知南国線 南国駅前線	2路線	10,116 (5,563)	Н6	H29	高知南国線·南国駅前線(H6~24)進捗率100%、南国駅前線第2工区(H23~29)進 捗率26%、高知南国線第2工区(H23~ 27)進捗率21%	×
社会資本整備総合交付金 C事業(効果促進事業)	南国市	全地区	災害時備蓄資機材整備一式(毛布、ガス式発電機、灯光機、ランタン、ポータブルトイレ等)	153.0 (76.5)	H29	R3	災害時備蓄倉庫・津波避難場所・防災活動 拠点のの整備と併せて整備	×
土地区画整理事業	南国市	篠原地区	施行面積 A=5.1ha	1,830 (382)	H25	R5	都市再生区画整理事業で実施	×
消防ポンプ自動車整備事業	南国市	全地区	22台	158 (0)	H22	R5	消防ポンプ自動車更新整備計画により、H 22から整備を開始し、H23年度末で2台 を整備完了	×
消防自動車整備事業	南国市		4台	176 (0)	H25	H28	消防ポンプ自動車更新整備計画により、H 25から更新予定	×
消防救急デジタル無線整備事業	南国市	全地区	基地8局、車載39局、携帯9局、 サイレン25局	286 (40)	H24	H24	H24年度に整備完了	×
市役所庁舎耐震化事業	南国市			819 (0)	H24	H26	H24の実施設計、H25~26整備	×
木造住宅·建築物耐震化事業	南国市	全地区	190棟	152 (69)	H15	R3	耐震診断828件、耐震設計174件、耐震 工事172件	×
都市防災事業(全国防災)	南国市		地区公共11件、防災まちづくり拠 点12件、防災情報ネットワーク1 件	4,824 (2, 404)	H24	H24		×

注) 総事業費について百万円単位。

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

					重点密集		補助事業費(予定)額【国費ベース】																				
1	事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	市街地	補助率	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計															
			前浜地区	避難路·避難場所 ΣN=1 A=820㎡	×	2/3	14.9 9.9	47.1 -		- 21.4	- 278.6	62.0 309.9															
			上倉地区	備蓄倉庫 ΣN=1 A=15㎡	×	1/2	2.1 2.1					2.1 2.1															
			瓶岩地区	備蓄倉庫 ΣN=2 A=315㎡	×	1/2	2.1 2.1		2.1 2.1			4.2 4.2															
			久礼田地区	備蓄倉庫 ΣN=3 A=45㎡	×	1/2		2.1 2.1	12.7 12.7	2.1 2.1		16.9 16.9															
			国府地区	備蓄倉庫 ΣN=2 A=30㎡	×	1/2			2.1 2.1		2.1 2.1	4.2 4.2															
			岡豊地区	備蓄倉庫 ΣN=2 A=30㎡	×	1/2		2.1 2.1		2.1 2.1		4.2 4.2															
	地区公共	南国市	長岡地区	備蓄倉庫 ΣN=4 A=60㎡	×	1/2		2.1 2.1	2.1 2.1	2.1 2.1	2.1 2.1	8.4 8.4															
地区公共			野田地区	備蓄倉庫 ΣN=2 A=30㎡	×	1/2		2.1 2.1			2.1 2.1	4.2 4.2															
施設等整備			大篠地区	備蓄倉庫 ΣN=3 A=45㎡	×	1/2			2.1 2.1	2.1 2.1	2.1 2.1	6.3 6.3															
			岩村地区	備蓄倉庫 ΣN=1 A=15㎡	×	1/2			2.1 2.1			2.1 2.1															
			日章地区	備蓄倉庫 ΣN=2 A=30㎡	×	1/2	2.1 2.1			2.1 2.1		4.2 4.2															
																				十市地区	備蓄倉庫 ΣN=1 A=15㎡	×	1/2	2.1 2.1			
				避難路 ΣN=1 L=800m	×	1/2		25.0 25.0				25.0 25.0															
			大篠地区	防災まちづくり拠点施設 施設整備 ΣN=1 A=500㎡	×	1/2			23.6 0.0	335.0 0.0		358.6 0.0															
	防災まちづくり拠点	南国市	日章地区	防災まちづくり拠点施設 施設整備 Σ N = 1 A=300㎡	×	1/2				7.8 7.8	93.2 93.2	101.0 101.0															
			前浜地区	防災活動拠点施設 施設整備ΣN=1 A=1200㎡	×	1/2	23.4 0.0	130.2 0.0				153.6 0.0															
							46.7	210.7	46.8	353.3	101.6	759.1															
合計							18.3	33.4	23.2	39.7	380.2	494.8															

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

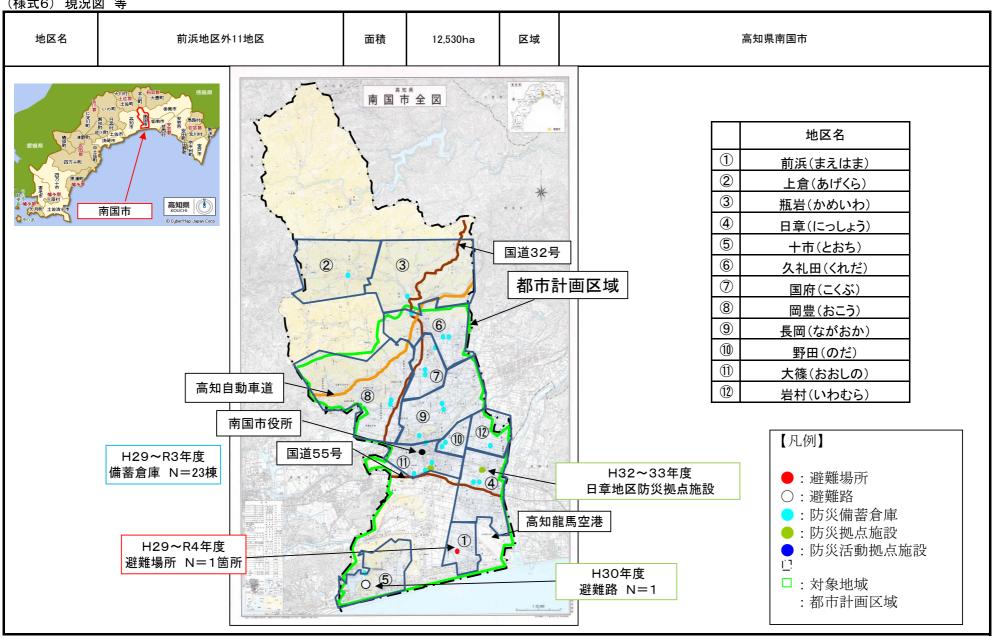
し 開助領の と	기리								
事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
	VII. 4// 18	用地以外	2/3	5.0 -	47.1 -		- 21.4	278.6	52.1 300.0
前浜地区	避難場所	用地	2/3	9.9 9.9					9.9 9.9
削洪地区	叶巛江私物上妆乳	用地以外	1/2	10.0 0.0	130.2 0.0				140.2 0.0
	防災活動拠点施設	用地	1/3	13.4 0.0					13.4 0.0
上倉地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2	2.1 2.1					2.1 2.1
瓶岩地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2	2.1 2.1		2.1 2.1			4.2 4.2
久礼田地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2		2.1 2.1	12.7 12.7	2.1 2.1		16.9 16.9
国府地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2			2.1 2.1		2.1 2.1	4.2 4.2
岡豊地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2		2.1 2.1		2.1 2.1	=	4.2 4.2
長岡地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2		2.1 2.1	2.1 2.1	2.1 2.1	2.1 2.1	8.4 8.4
野田地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2		2.1 2.1			2.1 2.1	4.2 4.2
土体业员	備蓄倉庫	用地以外	1/2			2.1 2.1	2.1 2.1	2.1 2.1	6.3 6.3
大篠地区 -	防災まちづくり拠点施設	用地以外	1/2			23.6	335.0 0.0	=	358.6 0.0
岩村地区	備蓄倉庫	用地以外	1/2			2.1 2.1	5.5		2.1 2.1
口去业区	備蓄倉庫	用地以外	1/2	2.1 2.1			2.1 2.1		4.2 4.2
日章地区 -	防災まちづくり拠点施設	用地以外	1/2				7.8 7.8	93.2 93.2	101.0 101.0
1 + 44 67	備蓄倉庫	用地以外	1/2	2.1 2.1					2.1 2.1
十市地区 -	避難路	用地以外	1/2		25.0 25.0				25.0 25.0
		•	合計	46.7 18.3	210.7 33.4	46.8 23.2	353.3 39.7	101.6 380.2	759.1 494.8

〇用地取得面積

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【㎡単位】

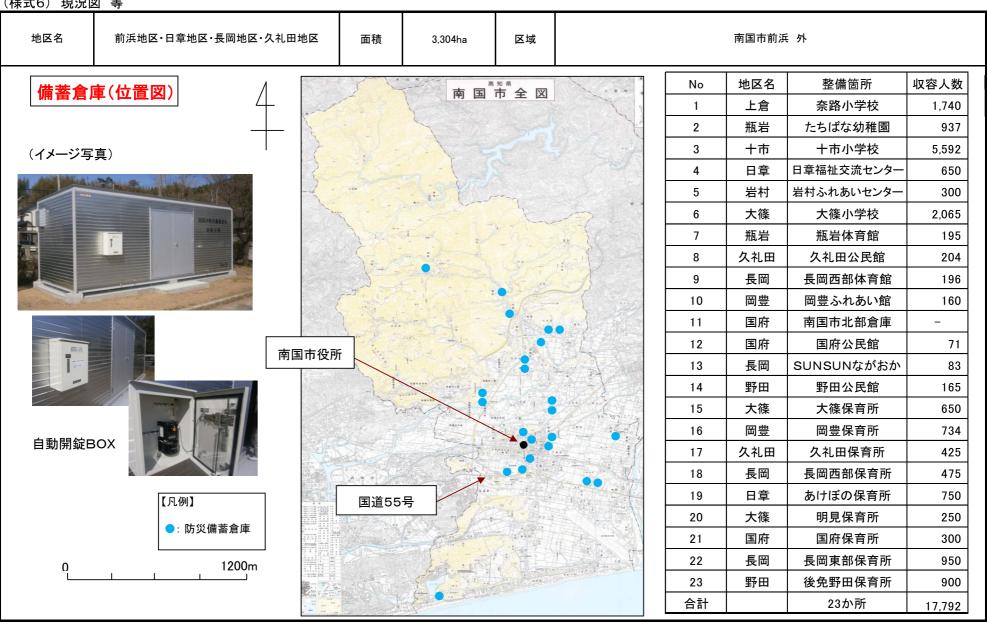
+ ** = 5	±6,144 -1	+	1.5 = 1	補助事業費(予定)額【国費ベース】							
事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計		
前浜地区	避難場所	用地	2/3	2,700.0					2,700.0		
	防災活動拠点施設	用地	1/3	7,300.0					7,300.0		

(様式6) 現況図 等

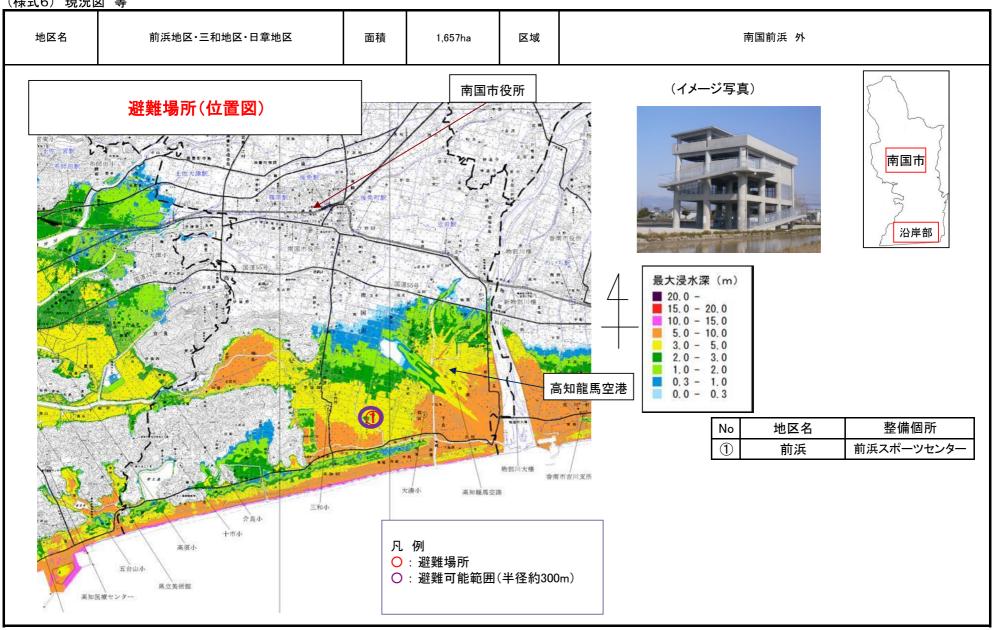


地区名	日章地区	面積	849ha	区域	南国市日章
防災拠点施設	建替え (イメージ写真)		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2~33年度	市防災備蓄倉庫日章地区
			日章立田均	地区防災拠股(:200人)	L点施設 保全地域

(様式6) 現況図 等



(様式6) 現況図 等



(様式6) 現況図 等

